

2019年2期 名古屋医療センター薬学実務実習コアカリキュラム

1. 病院実習期間と実習内容

新コアカリキュラムに基づいた実務実習期間

病院実習導入

内服・外用薬調剤

注射薬調剤・無菌調製

がん化学療法（実技テスト含む）

DI・TDM・医薬品管理室

病棟業務実践

がん、高血圧、糖尿病、心疾患、脳血管障害、精神疾患、免疫・アレルギー疾患、感染症について、入院患者の薬物治療に継続的に関わり、収集した患者、医薬品、薬物治療等に関する情報を駆使し、より有効で安全な薬物治療のための問題点を抽出し、解決策を考察し処方設計の提案、治療薬の変更・中止の提案などを体験する。病棟実習中に5-10例の患者を担当する。担当患者の病態、背景、治療等について情報収集し、その内容について評価、考察し、今後の治療計画を考える。その際、診療に関するガイドラインは必ず確認する。

名古屋医療センター 実務実習期間

2019年5月27日から2019年8月10日

05月27日から31日	5日	10コマ
06月03日から07日	5日	10コマ
06月10日から14日	5日	10コマ
06月17日から21日	5日	10コマ
06月24日から28日	5日	10コマ
07月01日から05日	5日	10コマ
07月08日から12日	5日	10コマ
07月16日から19日	4日	08コマ
07月22日から26日	5日	10コマ
07月29日から08月02日	5日	10コマ
08月05日から09日	5日	10コマ

合計 54日 108コマ

※1コマ 4時間

2. 各論

① 病院実習導入	4 コマ	
薬剤部オリエンテーション（在宅・地域包括ケア）		2 コマ
医療倫理		2 コマ
② 調剤・注射	19 コマ	
③ 病棟実践	38 コマ	
薬剤管理指導・病棟業務オリエンテーション		1 コマ
8領域 薬学的管理 5-10 例		36 コマ
症例報告 1 例		1 コマ
④ がん化学療法	14 コマ	
抗がん剤無菌調製・暴露対策		12 コマ
外来化学療法指導・レジメン監査		1.5 コマ
TPN 調製		0.5 コマ
⑤ DI	10 コマ	
医薬品情報概論・診療報酬（病棟加算）と DI の役割		3 コマ
緊急安全性情報・副作用被害救済基金と副作用報告		2 コマ
DI ニュース		4 コマ
中毒対策		1 コマ
⑥ TDM・院内特殊製剤	4 コマ	
TDM		1 コマ
HIV 血中濃度測定		1 コマ
院内特殊製剤と PL 法		2 コマ
⑦ 医薬品管理	6 コマ	
医薬品の購入と在庫管理・後発品		2 コマ
薬事委員会		1 コマ
災害医療と災害備蓄品目		1 コマ
医療用麻薬・毒薬等管理規制薬品		2 コマ
⑧ 治験	2 コマ	
⑨ 医療安全	1 コマ	
⑩ チーム医療	10 コマ	
多職種チーム医療		6 コマ
(HIV・ICT・NST・PCT・褥瘡・DM 教室)		
他部門見学		4 コマ
(リハビリ・栄養・検査・放射)		

合計 108 コマ

3. 新コアカリキュラム GIO

F 薬学臨床

GIO 患者・生活者本意の視点に立ち、薬剤師として病院や薬局などの臨床で活躍するために、薬物療法の実践と、チーム医療・地域保健医療への参画に必要な基本的事項を習得する

(1) 薬学臨床の基礎

GIO 医療の担い手として求められる活動を適切な態度で実践するために、薬剤師の活躍する臨床現場に必要な心構えと薬学的管理の基本的な流れを把握する。

(2) 処方せんに基づく調剤

GIO 処方せんに基づいた調剤業務を安全で適正に遂行するために、医薬品の供給と管理を含む基本的調剤業務を習得する。

(3) 薬物療法の実践

GIO 患者に安全・最適な薬物療法を提供するために、適切に患者情報を収集した上で、状態を正しく評価し、適切な医薬品情報を基に、個々の患者に適した薬物療法を提案・実施・評価できる能力を習得する。

(4) チーム医療への参画

GIO 医療機関や地域で、多職種が連携・協力する患者中心のチーム医療に積極的に参画するために、チーム医療における多職種の役割と意義を理解するとともに、情報を共有し、より良い医療の検討、提案と実施が出来る。

(5) 地域の保健・医療・福祉への参画

GIO 地域の保健・医療・福祉に積極的に貢献できるようになるために、在宅医療、地域保健、福祉、プライマリーケアセルフメディケーションの仕組みと意義を理解するとともに、これらの活動に参加することで、地域住民の健康の回復、維持、向上に関わることができる。

4. 評価方法 F 薬学臨床

(1) 薬学臨床の基礎

GIO 医療の担い手として求められる活動を適切な態度で実践するために、薬剤師の活躍する臨床現場に必要な心構えと薬学的管理の基本的な流れを把握する。

【方法】 レポート：薬剤師としての職業倫理

【時期】 実習最終日

【評価者】 薬剤部長・副薬剤部長

(2) 処方せんに基づく調剤

GIO 処方せんに基づいた調剤業務を安全で適正に遂行するために、医薬品の供給と管理を含む基本的調剤業務を習得する。

【方法】 口答試験：処方箋調剤（広義の病院薬局調剤）における注意点について
処方箋を提示し試験

レポート：医薬品管理と薬剤師の役割

実地試験 抗がん剤無菌調製

【時期】 実習最終週

【評価者】 副薬剤部長・調剤主任・薬務主任・医薬品情報管理主任・製剤主任

(3) 薬物療法の実践

GIO 患者に安全・最適な薬物療法を提供するために、適切に患者情報を収集した上で、状態を正しく評価し、適切な医薬品情報を基に、個々の患者に適した薬物療法を提案・実施・評価できる能力を習得する。

【方法】 症例報告：プレゼンテーション & 質疑応答

レポート：医薬品情報の収集・加工・提供

【時期】 実習終了後

【評価者】 副薬剤部長・病棟業務担当主任・医薬品情報管理主任

(4) チーム医療への参画

GIO 医療機関や地域で、多職種が連携・協力する患者中心のチーム医療に積極的に参画するために、チーム医療における多職種の役割と意義を理解するとともに、情報を共有し、より良い医療の検討、提案と実施が出来る。

【方法】 レポート：チーム医療で薬剤師が果たす使命

【時期】 実習終了後

【評価者】 副薬剤部長・製剤主任・医薬品情報管理主任

(5) 地域の保健・医療・福祉への参画

GIO 地域の保健・医療・福祉に積極的に貢献できるようになるために、在宅医療、地域保健、福祉、プライマリーケアセルフメディケーションの仕組みと意義を理解するとともに、これらの活動に参加することで、地域住民の健康の回復、維持、向上に関わることができる。

【方法】 レポート：地域の保健・医療・福祉で薬剤師が果たす使命

【時期】 実習終了後

【評価者】 副薬剤部長・製剤主任・医薬品情報管理主任